



愛想のよいドアマンに迎えられるタージ ボストンの正面エントランス



美術品やアンティークで飾られた格調高いエントランスホール。エレガントなステアケースが華を添える



ロビーフロアにある「The Bar」は暖炉に薪がたかれ、書斎のような居心地を醸し出している



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
www.jhrca.com/worldhotel
現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

タージ ボストン Taj Boston

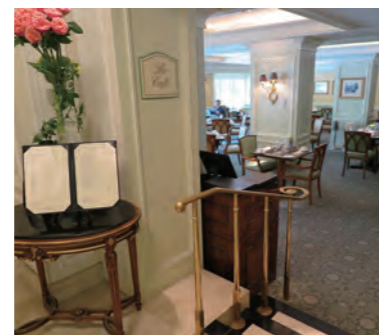
www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



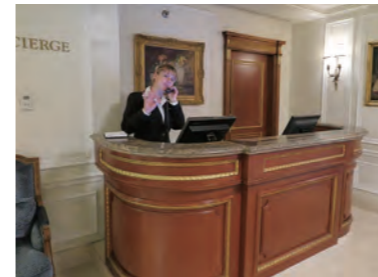
パブリックガーデンから望む「Taj Boston」のツインの建物。「タージ」の名称となっても、リッツ・カールトンの記念すべき第1号ホテルとしての格式と誇りを真摯に受け継いでいる



メインダイニング「The Café」はコンテンポラリーアメリカン料理が高い評価だ



明るい雰囲気の中、窓からお洒落なニューベリー通りを眺めながら食事を楽しめる



レセプションの前にデスクを構えるフレンドリーなコンシェルジュ



2階にある「The French Room」は優雅なフランスサロンのインテリアで、アフタヌーンティーが人気だ



「The Bar」の窓側は、パブリックガーデンに面した英国調のラウンジになっている



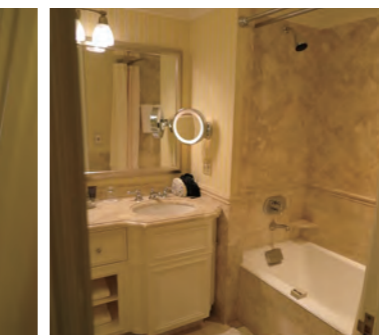
17階にある「Roof Foyer」では季節営業だが日曜限定のサンデーランチがある



「Luxury Park View one-bedroom Suite」のリビングルーム。約65㎡の広さを持つコーナースイートで、暖炉のあるリビングからは緑多きボストンコモンとパブリックガーデンを望める



落ち着いた雰囲気の中、独立したベッドルーム



クラシカルなツインシンクを備えたバスルーム

「Taj Boston」、リッツ・カールトン時代の優雅さを大切に守り抜いたボストンのランドマークホテルである。1920年代、ボストン市長から“街を代表するホテル”の依頼を受けた地元の大富豪、E・ワイナーが1927年にリッツ・カールトンの名称使用権を獲得し「The Ritz-Carlton Boston」として誕生したのが始まりである。ホテルは大規模な改修を経て2007年にインド資本の「The Taj Hotels Resorts and Palaces」に買収され、現在の「Taj Boston」に呼称変更されている。“タージ”の名称となっても、緑多きボストンコモンとパブリックガーデンに映える美しき建物は今もボストン市民の誇りである。

タージ・ホテルズはインドのタタ・グループ傘下の企業で、1903年に「Taj Mahal Palace & Tower」をタタ・グループの創始者であるジャムセットジ・N・タタがムンバイで開業したことに始まる。現在タージ・ホテルズは、米国では3軒の高級ホテルを展開している。一方で、リッツ・カールトンはボストンの全面改修で一時期閉鎖されたのを機に、新たに2001年「The Ritz-Carlton Boston Common」をボストンコモン側に開業させている。巨費を投じた大改修を終え、老舗のホテル建物は盛大に創業75周年記念を祝った後、07年にタージボストンに引き継がれた。

タージボストンは現在44のスイートを含め全273室を擁している。創業以来、伝統的でクラシカルなスタイルを保つ館内は英国流の重厚な空気が流れる。筆者にアサインされた部屋は「Luxury Park View one-bedroom Suite」で、約65㎡の広さを持つコーナースイートだ。暖炉のあるリビングからは美しいパブリックガーデンを望める。ロビーフロアにある「The Bar」は暖炉に薪がたかれ、書斎のような居心地を醸し出している。メインダイニング「The Café」では明るい雰囲気の中、コンテンポラリーアメリカン料理が高い評価だ。2階にある「The French Room」は優雅なフランスサロンのインテリアで、アフタヌーンティーが地元のセレブでにぎわいを見せている。また、17階にある「Roof Foyer」では季節営業だがサンデーランチが人気で、ここからボストンの高層建築群が眺望できる。

タージボストンは、長い歴史と数々のエピソードが残るボストンの老舗ホテルだ。リッツ・カールトンの記念すべき第1号ホテルとしての格式と誇りを真摯に受け継いでいる。そのリッツ・カールトンの夢の跡であるタージボストンの滞在は、古都ボストンでの日々をいっそう楽しく印象深いものにさせてくれる。



小原 康裕 渾身の写真集第二弾
WORLD'S PRESTIGE HOTELS
「世界の名門ホテル(仮称)」
今春発売
世界最高ランクのホテルの
美しい写真と解説にご期待ください。